

[協働事業の企画書概要]

事業名	子育て家庭サポート事業
事業主体	NPO法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア
事業の概要	『どういう問題を解決しようとしていますか?』 保育園や児童ホームの預かり時間が実態にマッチしていない。子育て中の親の精神的、肉体的負担を軽減するためには実際の手助けが必要 行政が行うと費用がかかりすぎ無駄も多い。 個人的に解決するのは困難。 だから、 子どもの預り、送迎 新生児の沐浴、産後の家事援助などを行う。
どういう主体と協働するのがよいと考えていますか?	主体A：NPO（チャイルドケア） 主体B：行政（大和市） 主体C：
協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか?	主体A：事業の実施 事業内容の公開 行政との連携、定期的な情報交換 ----- 主体B：活動時間数に応じたコーディネーター費用の一部負担（別途基準を設ける） 市の機関等での紹介、研修の機会等の提供 公共施設の提供、NPOとの連携 ----- <del>主体C：定期的な情報交換 契約内容の公開</del>
その他	この事業は平成12年より実施、平成13年度より大和市の「保健及び福祉事業に関するNPO法人支援パイロット事業」として支援を受けてきた。  これまでの関係を協働ルールに基づいて整理した。